

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
小野町	無	A－1	小野町地域魅力発信事業（石垣市交流事業）			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R 8 年度	4,525 千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
1,221 千円	610 千円		○			

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
東京都をはじめとする首都圏や県外でのイベントに出展することで、町農畜産物の安全・安心を発信してきた。これらのPRイベントを継続的に行ったり、ふるさと納税の返礼品としたりすることで、徐々にファンやリピーターが増えている状況だが、思うように農畜産物の販売が伸びず、価格においても全国平均との乖離が続いている。観光業においても、福島県全体としては回復傾向にあるが、町の状況としては、ピーク時の誘客には至っていない。風評被害による農畜産物の販売数や価格の低下が続き、誘客にも大きな影響を及ぼしている。
上記の現状の原因となる課題について
県外の方々への情報発信が不十分で、町農畜産物の安全・安心に対する正しい理解が得られていないことが原因であると考えられる。
上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）
- 震災以降、コロナ禍を除いて、東京都・神奈川県等の首都圏へ、町単独（職員及び生産者等）で特産品の対面販売・PR（観光を含む）を行う出展をし、商品説明、農畜産物のモニタリング検査結果の説明をした上で販売することにより、農畜産物のおいしさだけでなく、安心・安全の発信を行ってきた。 - コロナ禍においても、パンフレット等の配置や、ウェブサイトやSNS（町公式及び観光協会公式など）による観光情報の発信を続けてきた。 - 令和6、7年度においては、石垣市で開催された石垣島まつりに出展し、現地及びイベント来場者へ町農畜産物販売、観光パンフレット・のぼり等によるPRを実施した。
上記の取組における成果について
- 対面でのPRにより、町内特産品のリピーターを獲得できたり、SNS発信をきっかけに出展イベントにご来場いただき、対面でのPR・販売につながっている。 - SNS発信情報を基に特産品への問い合わせをいただき、購入につながる事例があった。 - 令和6年度の石垣市への出展をきっかけに、小野町・石垣市相互にそれぞれの特産品等を仕入れする事業者等が現れ、イベント等での販売を行った。

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。	
1. 石垣市交流事業 ①実施期間：令和8年11月 ②実施体制：単独 ③実施場所：沖縄県石垣市 ④概算費用：1,221千円 ⑤実施内容： 町の魅力発信・交流拡大のため、毎年11月に沖縄で開催される「石垣島まつり」に出展する。 ⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容： ・出展の際、小野町産の農産物・加工品を販売し、小野町と福島県の食に対する安心・安全、おいしさといった良いイメージを前面に押し出す。また、小野町産・福島県産の農産物等の売り上げが増えることで、復興に向けて動きが加速していることを伝えていく。 ⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容： ・イベント会場内にポスター掲示、特産品を紹介したパンフレット等を配置し、町特産品の情報発信を積極的に行うことで、現在も残る原発事故の風評被害を払拭して、町産品の売上増を図るとともに、観光情報をあわせて提供することで町への誘客促進を図る	

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
・出展ブース来訪者数 300名 ※イベント来場者数（例年13,000人程度）	・小野町産の食や特産品に対する安心・安全、おいしさといった良いイメージを定着させ、小野町産品を手にとってもらう機会のひとつである、ふるさと納税の寄附者数20%増を目指す
長期的な目標 ※1つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載（○％）
・観光客入込客数の回復（H22約18万人→R6約16万人→毎年20万人以上） ・新たな形の相互交流・連携機会の創出（3つ以上） ・継続して出展をすることで、石垣市の方々や来場される沖縄県の方に小野町及び福島県の良いイメージ（おいしい農畜産物、食品の安心・安全、魅力ある観光・文化施設）を定着させ、本県・本町への交流人口の拡大を図る。	・観光客入込客数（R6約16万人、R7約14.7万人で、目標の73～80%達成） ・交流機会の創出：2（民間団体主催「八重山祭り」の定着（R6,7開催）、石垣市との農業者間の交流（R7農業者間の交流機会創出、農業委員会視察等）、約67%達成） ・継続出展による、町特産品の知名度向上と定着化（出展ブースのリピーター増）

